

## 業績

令和5年度の当金庫の業績は、コロナ禍で積み上がった余剰資金の減少はありましたが、期末預金積金残高は2,819億円、年間増加額は78億円、年間増加率は2.86%となり、貸出金については、円安・資材価格の高騰対策資金や増加運転資金等の事業者への資金支援の取組みにより、期末貸出金残高は1,321億円、年間増加額は64億円、年間増加率は5.11%となりました。

損益の状況につきましては、貸出金残高の増加・貸出金利回りの上昇により貸出金利息は増加し、基本的な収益力を示すコア業務純益は635百万円と前期対比7百万円増加しました。世界的な金融引き締め

により、回復が見込めない有価証券の処理や、信用リスクの増加に備えた貸倒引当金の積み増しにより、経常利益は515百万円と前期対比6百万円減少し、当期純利益も354百万円と前期対比22百万円減少しました。

地元事業者への真摯な資金繰り対応により貸出先は増加しましたが、一部事業者においては経営破綻が顕在化し、不良債権額が増加したため、不良債権比率は3.77%と前期比0.15%上昇しました。

自己資本比率においては13.92%と国内基準の4%を大幅に上回っており、当金庫の健全性は充分保たれております。

## 最近5年間の主要な経営指標の推移

(単位)利益:千円、残高:百万円

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
経常収益	3,730,569	3,298,923	3,343,931	3,493,687	3,835,773
経常利益	836,960	445,331	551,626	521,605	515,482
当期純利益	547,615	276,281	403,042	376,733	354,041
出資総額	451	461	472	475	477
出資総口数	902千口	923千口	945千口	950千口	954千口
純資産額	19,656	20,577	19,630	17,880	17,323
総資産額	271,751	293,821	314,006	294,148	300,922
預金積金残高	249,736	264,838	269,416	274,059	281,900
貸出金残高	97,650	113,594	119,429	125,688	132,116
有価証券残高	114,699	121,378	117,398	109,046	98,916
単体自己資本比率	14.85%	14.99%	14.89%	14.55%	13.92%
出資に対する配当金(出資1口当たり)	5%(25円)	4%(20円)	4%(20円)	4%(20円)	4%(20円)
役員数	10人	9人	10人	10人	10人
うち常勤役員数	8人	6人	8人	8人	8人
職員数	218人	215人	211人	208人	222人
会員数	13,822人	14,121人	14,235人	14,326人	14,409人

【注】2019年度の出資に対する配当金 年5%の内訳(普通配当 年4%、記念配当 年1%)

## 事業の展望及び当金庫が対処すべき課題

ウクライナ、中東をめぐる地政学的リスクや中国経済の先行き、日銀の金融正常化へ向けた動きなど、国内経済・金融に影響を及ぼす環境の変化は、依然として不確実性が高い状況にあります。また、人手不足に伴う賃上げや価格転嫁が広がる動きは、当金庫の主要顧客である中小・小規模事業者の経営に大きな影響を与えております。

事業者の方々に於かれては、様々な環境の変化により、多くの課題を抱えることとなり、厳しい経営環境に晒されている状況で、地域金融機関である当金庫への伴走支援のニーズは高まっているものと考えております。

相互扶助を基本理念とする信用金庫として、夫々の事業者が抱える課題に共に向き合い、ネットワークを最大限活用したコンサルティング機能を発揮し、その解決に尽力することにより、地域経済の発展に努めてまいります。

また、令和6年度の業務運営方針で対処すべき課題としている「課題解決に向けた伴走支援の強化」「支援能力向上のための人材育成」「経営基盤の強化」の3項目については、最優先課題として捉え役職員一丸となり取り組む所存です。

## 解説 業務純益

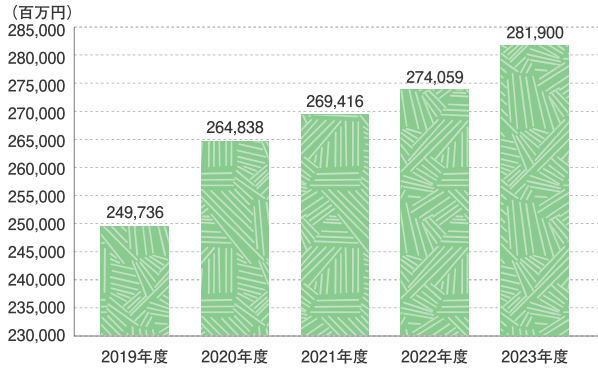
金融機関の基本的な業務の成果を示す金融機関固有の利益指標です。具体的には「業務粗利益」から、業務遂行に必要とされる費用、つまり「貸倒引当金(一般)」「経費(除く臨時経費)」を控除したものです。また、この「業務純益」は、有価証券の含み益等と同様に、貸倒発生の際の償却能力を判断する基準ともなります。

## 解説 コア業務純益

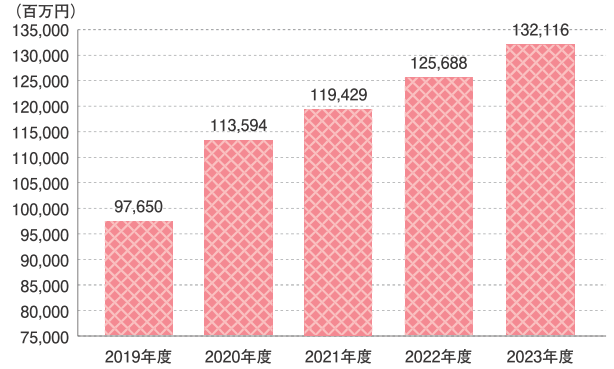
業務純益からさらに債券運用による損益を控除し、一般貸倒引当金繰入に充てた費用を戻す事により、預貸等本業による基本的な利益額を示すものです。

## 事業の概況

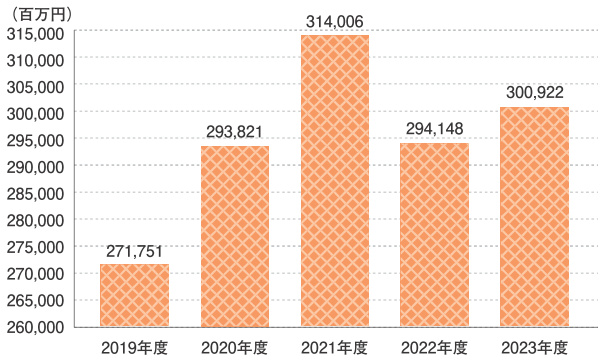
## 預金積金の推移



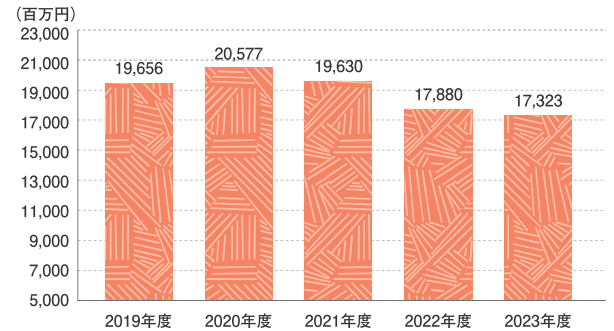
## 貸出金の推移



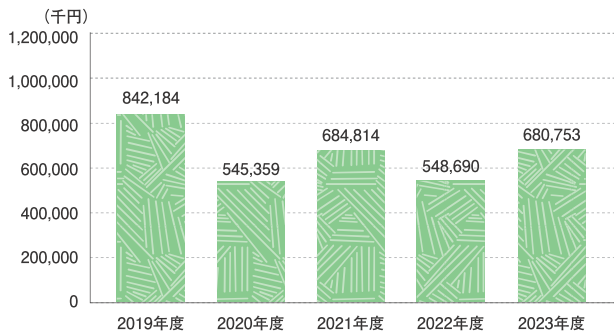
## 総資産の推移



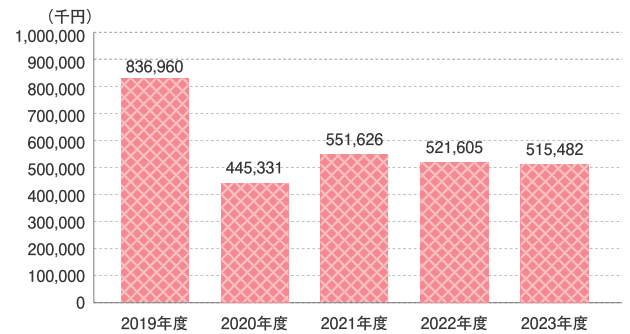
## 純資産の推移



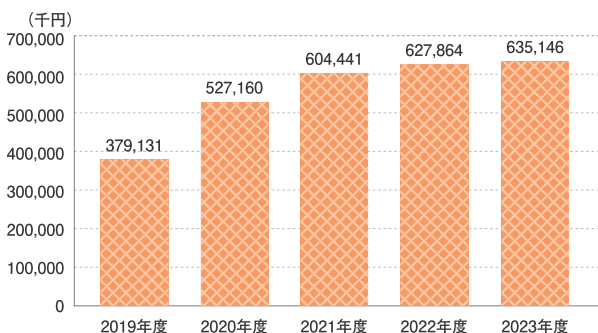
## 業務純益の推移



## 経常利益の推移



## コア業務純益の推移



## 当期純利益の推移

